

授業科目 高齢期障害作業療法学

【担当教員名】 能村 友紀	対象学年	3	対象学科	作業
	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	◎
【概要・一般目標：G10】				
1) 高齢者の心身の特性・障害を理解できる 2) 高齢者の生活障害を理解できる 3) 高齢者に対する作業療法の援助プロセスを理解し、実践に必要な基礎知識・技術を習得する				
【学習目標・行動目標：SB0】				
1. 高齢者の身体機能の評価ができる 2. 高齢者の精神心理機能の評価ができる 3. 高齢者の生活障害の評価ができる 4. 高齢者に対する作業療法実施における問題点を列挙できる 5. 高齢者に対するリハビリテーション、OTの役割、OTのプロセスを説明できる 6. 高齢者に対する作業療法のプログラムを立てることができる				
回数	授業計画・学習の主題		SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	高齢者の評価 観察評価		1	講義（能村）
2	高齢者の評価 身体機能評価		1	講義（能村）
3	高齢者の評価 精神心理機能評価		2	講義（能村）
4	高齢者の評価 生活障害		3	講義（能村）
5	高齢者の作業療法援助法（1）		4～5	演習（能村）
6	高齢者の作業療法援助法（2）		4～5	演習（能村）
7	高齢者の作業療法援助法（3）		4～5	演習（能村）
8	作業療法の実際 心身機能障害・生活障害と作業療法（1）		1～5	講義（能村）
9	作業療法の実際 心身機能障害・生活障害と作業療法（2）		1～5	講義（能村）
10	作業療法の実際 認知症と作業療法（1）		1～5	講義（能村）
11	作業療法の実際 認知症と作業療法（2）		1～5	講義（能村）
12	障害高齢者の評価演習 情報収集、評価		1～3	演習（能村）
13	障害高齢者の評価演習 問題点の抽出		4	演習（能村）
14	障害高齢者の評価演習 目標設定		5～6	演習（能村）
15	障害高齢者の評価演習 プログラム		6	演習（能村）
【使用図書】				
	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	高齢期作業療法学 第2版	小川恵子編	医学書院	2010・3,990円
参考書	老年期の作業療法 第2版	浅海奈津美、守口恭子	三輪書店	2009・3,465円
	高齢者のための知的機能検査の手引	大塚俊男 他	ワールドプランニング	2001・1,457円
	痴呆性老人のための作業療法の手引き	植田孝一郎 他	ワールドプランニング	2004・2,524円
	標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 老年学 第3版	大内 尉義	医学書院	2010・4,725円
その他の資料				
【評価方法】 出席点 レポート 発表 期末試験		【履修上の留意点】		